

R6宍粟市内通学路対策一覧

※網掛けは「ソフト対策」又は「ハード対策」対応済みの項目

学校名	番号	箇所	通学路の状況(危険内容)等	対策内容	対応機関					
					道路管理者			警察	教委	その他
					国道	県道	市道			
宍粟わかば	6-1	山崎町上寺5-1付近	ガードレールが切れている箇所に水門と水路があり、水の流れが速くなっている。園児が誤って転落してしまう恐れがあり、危険。	市道管理者により柵等の設置を検討中。			○			○
まあるこども園	6-2	野 城東保育所跡地 南側三叉路	国道への抜け道(近道)としても使用されることが多く、園外保育時にもスピードを出した車が園児の横を通り抜けることがあり危険。	令和6年度に学童注意看板を設置済。(市道) (R8.9.1に法改正により法定速度30キロへ変更となる道路のため、今後に向けて調整を行う。また、パトロール強化を行う。(警察))			○	○		
河東小学校	6-3	山崎町須賀沢(出石)	道幅が狭く、用水路もある。児童が通学する時間帯も車がよく通るので、児童と車が接触したり、用水路に転落する可能性があり危険である。	西側に幅員の広い市道があるため、通学路のルート変更も含め検討。当分は通学指導にて対応する。			○			
山崎東中学校	6-4	県道537号田井中広瀬線 宍粟橋東詰交差点	交通量が多く直線道路のためスピードを出す車が多いが、生徒が横断する必要があり、横断に危険が伴う。また、橋の幅員が狭いため、橋側から横断する際にも待避所がなく、通行時に車両と極めて接近するため事故の危険性が高い。	宍粟橋東詰交差点の西側には、横断歩道に溜まり場が無い、区画線を引き直し、歩行者が退避できる溜まり部を確保した。		○	○			
一宮北小学校	6-5	一宮町福野 枳尾店前 横断歩道	横断歩道の白線が薄くなっているため、見えずらく児童が横断するのに車の運転手からわかりにくい、危険が予測される。	R6年度に横断歩道塗替済				○		
	6-6	旧下三方小 下横断歩道	横断歩道の白線が薄くなっているため、見えずらく児童が横断するのに車の運転手からわかりにくい、危険が予測される。	R6年度に横断歩道塗替済				○		
一宮北こども園	6-7	宍粟市一宮町三方町287番地1 一宮北こども園前 県道428号線上	こども園側には歩道がないため散歩にでるにはまず県道を横断する必要があるが、横断歩道がないので、よく確認して渡っている現状。園から出て右側(写真奥側)にはカーブがあり建物の陰で車の往来が見えにくい。	園を出て右側のカーブ部には、注意喚起において効果が高い、減速マークと「児童注意」「速度落せ」の路面標示を施工しており、道路管理者としてできる対策は行っている。より効果が期待できる要望があれば、検討する。(県道) 過去に横断歩道の設置要望があり検討したが、構造上の理由により設置が出来ない。横断指導を行う。(警察)		○		○		
波賀中学校	6-8	宍粟市波賀町皆木地内 国道29号線沿い飯見橋付近交差点	速度超過の車が多く、生徒が横断する際、大変危険である。(上り車線原則マーク及び注意喚起看板設置は対策済み)	下り車線に減速マークと注意喚起看板を設置(国道) (対応可能な対策は行っているため、パトロール強化および通学指導で対応する。(警察))	○			○		

R6宍粟市内通学路対策一覧

※網掛けは「ソフト対策」又は「ハード対策」対応済みの項目

学校名	番号	箇所	通学路の状況(危険内容)等	対策内容	対応機関					
					道路管理者			警察	教委	その他
					国道	県道	市道			
波賀中学校	6-9	宍粟市波賀町小野～谷 国道29号線沿い山側歩道	交通量が多く、速度超過の車が多い中、歩道の幅が非常に狭くなっており、車道側に柵がないため、大変危険である。	当該箇所は歩道拡幅が難しい箇所であるとともに、現況幅員で防護柵等を設置した場合、歩道の有効幅員が減少するため対応が困難である。当面は通学指導で対応する。	○					
波賀幼稚園	6-10	国道29号線 波賀幼稚園から芥木口交差点までの歩道	園外保育で国道を歩行する際、道路の幅が狭く、通行時にスピードを出す車両も多いため、通行車両と園児の距離が近く危険がある。歩道の幅も狭いため、歩行者同士のすれ違いが難しい時がある。	上野大橋北側から芥木口交差点までの区間については、既設歩道の拡幅する予定。	○					
波賀幼稚園	6-11	総合教育センター裏の道の溝	溝が深く柵もないため、園外保育時に園児が転落する可能性がある。さらに雑草が生い茂ると溝の境目もわからなくなるが、日常的に園児、児童が覗いていることも多いため危険である。	R6年度に自治会で柵を設置済						○
はりま一宮小学校	6-12	国道29号線 一宮町杉田81番地6 杉田橋付近	国道29号線の杉田橋付近は、道が大きく曲がり、さらに勾配があるため杉田橋前の横断歩道を渡る児童を、特に波賀方面から来る車が認識しづらく、注意看板等もないため大変危険である。	カーブ注意標識及び路面標示(「交差点あり」標示、減速マーク)を設置しており、道路管理者として出来る対策は完了している。より効果が期待できる要望があれば検討する。	○					
	6-13	国道29号線 一宮町杉田81番地6 杉田橋付近	冬季(11月～2月)は登校時に路線バスを利用している。写真の左側歩道を歩行し、横断歩道を渡る必要があるが、歩道および歩行者たまりにガードレールがない。路面の凍結等の状況で児童の発見が遅れたときには衝突する可能性があり、非常に危険である。	安積橋北側から杉田橋の区間については、既設歩道の拡幅する予定。(国)学童注意看板等については、歩道の幅が狭く設置できないため、当面は通学指導で対応する。(教委・警察)	○					
	6-14	国道29号線 一宮町杉田81番地6 杉田橋付近	下校時には横断歩道を北から南に渡るが、バス停から、波賀方面から来る車を確認しづらい。一方、波賀方面から来る車の確認用にカーブミラーはついているが、バス停および横断歩道付近を歩行する児童の確認が難しい角度であり、安全確認が難しい。	カーブ注意標識及び路面標示(「交差点あり」標示、減速マーク)を設置しており、道路管理者として出来る対策は完了している。より効果が期待できる要望があれば検討する。	○					
	6-15	一宮町安積191番地1付近 一宮町杉田から安積までの歩道	片側に歩道があるものの、幅が非常に狭く、ガードレールもないところがある。車との距離が近く、歩行者と車が接触する危険性がある。さらに冬場は凍結や積雪等により車道と歩道の境目が判別しづらく、事故の危険性が増す区間である。	歩道の拡幅計画あり。安積橋北側に歩道及び柵等を設置する予定で杉田橋までは計画中。(また、学童注意看板等については、歩道の幅が狭く設置できないため、当面は通学指導で対応する。(教委・警察))	○			○	○	
一宮北小学校	6-16	県道6号養父宍粟線 一宮生栖212番地1付近	起伏があるためドライバーから横断歩道の存在が確認しにくい。道路は直線のためスピードが出やすく見通しが悪いため気づいたときに児童が横断して接触するおそれがある。	対応可能な対策は行っているため、パトロール強化および通学指導で対応する。(警察)		○		○		

※対策検討メンバー

国土交通省姫路河川国道事務所、兵庫県龍野土木事務所宍粟事業所、宍粟市建設部、宍粟警察署、宍粟市市長公室、自治会代表、PTA代表、小学校代表、中学校代表、宍粟市教育委員会